長崎 ～ 小倉
次世代交流平和推進事業

令和５年度
活 動 報 告 書

北九州市
平和のまちミュージアム
Kitakyushu City Museum of Peace

目　次

事業の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
北九州市非核平和都市宣言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
参加者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
行程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
市民大行進宣言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
活動の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
各グループの報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

事業の目的

北九州市は、長崎に投下された原爆の第一投下目標であった経緯を踏まえ、平成２２年２月１０日に「北九州市非核平和都市宣言」を行い、市民の皆さんとともに、平和な世界の実現に向けて努力することを宣言し、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるための様々な取り組みを行ってきました。

戦後８０年近くが経過し、戦争の記憶が風化することが懸念される中、若い世代を対象にした取り組みが特に重要であることから、小・中学生、高校生の皆さんを、長崎市が主催する「青少年ピースフォーラム」に派遣するほか、８月９日に親子で長崎市に訪問する事業や、「嘉代子桜・親子桜」の学校・公園への植樹など、戦争の悲惨さや平和の尊さについてじっくりと考えることのできる機会を設けています。

皆さんは北九州市の代表として、長崎市の「青少年ピースボランティア」とともに、被爆遺構・被災資料の見学、被爆体験者の講話聴講やボランティア活動を行い、次の世代を担う若者同士の交流を深め、改めて平和の大切さを考えていただきたいと思っています。

そして、北九州市と長崎市の同世代のつながりを作り、これからも引き続き、戦争の悲惨さや平和の尊さについて伝える活動に取り組んでいただきたいと考えています。

北九州市非核平和都市宣言

平和な世界の実現は、人類共通の願いです。

私たちの国、日本は、世界で唯一の核兵器の被爆国として、この地球上で再び広島や長崎の惨禍を繰り返してはならないことを、世界の人々に強く訴え続けてきました。

私たち北九州市民は、長崎に投下された核兵器の第一目標が小倉であったことを重く受け止め、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを、次の世代に伝え、核兵器のない、戦争のない、平和な世界を築いていかなければなりません。

よって、私たちは、命と平和の大切さを深く認識し、核兵器の廃絶と平和な世界の実現のために歩み続けることを誓い、ここに北九州市を非核平和都市とすることを宣言します。

平成２２年２月１０日　北九州市

参加者名簿

■参加者

氏名	ふりがな	班	班長	学校・勤務先等	学年等
出口　菜名子	でぐち　ななこ	A	◎	九州女子大学	4
原田　歩美	はらだ　あゆみ		○	九州女子大学	4
寺﨑　百音	てらさき　もね			北九州市立大学	1
宮田　らな	みやた　らな			西南女学院大学	3
高瀬　颯太郎	たかせ　そうたろう			北九州市立大学	1
森　はるな	もり　はるな	B	◎	九州女子大学	4
小路　麻央	しょうじ　まお		○	西南女学院大学	3
奥浜　日向子	おくはま　ひなこ			北九州市立大学	1
藤村　日和子	ふじむら　ひなこ			北九州市立大学	1
菱井　丈琉	ひしい　たける			北九州市立大学	2
政岡　由璃那	まさおか　ゆりな	C	◎	九州女子大学	4
道城　有紗	みちしろ　ありさ		○	西南女学院大学	3
茂木　士憧	もぎ　しどう			北九州市立大学	2
吉牟田　楓乃音	よしむた　かのん			北九州市立大学	1

◎：班長、○副班長

■引率者

原　昭仁	北九州市総務局 平和のまちミュージアム事務局 主査
鈴木　大地	北九州市総務局 平和のまちミュージアム事務局 主任
三好　勝嗣	引率ボランティア（北九州市立大学）
小茅　美晴	引率ボランティア（九州国際大学付属高等学校）

行程表

10月27日（金）		10月28日（土）	
		7:00	起床
		7:15	朝食（宿泊施設内） ・出発準備を整えて朝食
8:30 8:50	市役所本庁舎集合（南口玄関前） 出発式後、出発	8:30	宿泊施設　発
移動	▶ 高速道路PAで10分休憩 × 2回 （基山PA・大村PA） ■DVD「二重被爆 語り部 山口彊の遺言」視聴 【独自学習】	9:00	平和公園　着（平和祈念像前 集合） ●運営業務ボランティア ・青少年ピースボランティアとともに風船配り等
12:00 12:50	昼　食 昼食会場　発	10:30 10:40	●『市民大行進』出発式 ●行進（国道コース）
13:10 14:10	■城山小学校 見学（60分）【独自学習】 ・嘉代子桜前で記念撮影📷 城山小学校　発	11:00 11:20 12:20 12:30	爆心地公園（**行進**）着 ●集会 ・黙祷、バルーンリリース 等 『市民大行進』終了 ●運営業務ボランティア ・青少年ピースボランティアとともに片付け 等 爆心地公園（**徒歩**）発 長崎原爆資料館 駐車場　発 ・青少年ピースボランティアとともに移動
14:25 15:50	■長崎原爆資料館 見学（85分）【独自学習】 ・長崎原爆資料館入口で記念撮影📷 長崎原爆資料館（**徒歩**）発		
15:55 16:00 17:10	長崎原爆資料館 会議室　着 ■被爆体験者講話聴講（60分）【独自学習】 ・講話者：三瀬 清一朗　氏 （みせ せいいちろう氏） 長崎原爆資料館（**徒歩**）発	13:00 15:00	■昼　食（青少年ピースボランティアと交流） ・青少年ピースボランティアと食事 ・青少年ピースボランティアとの交流会 ・「交流会会場」で記念撮影📷 ・自由時間 昼食会場　発
17:15 18:05 19:30	夕　食 ■ミーティング（85分）【独自学習】 夕食･ミーティング会場　発	移動	▶ 高速道路PAで10分休憩 × 2回 （金立PA・古賀PA）
19:50	宿泊施設　着 1日目 終了	**18:30頃**	市役所本庁舎到着（南口玄関前） ・解散式 → 解散

市民大行進宣言

７８年前の１９４５年８月９日午前１１時２分、愛するふるさと長崎市は、一つの原子爆弾によって死の大地となりました。木々は燃え尽き、家は壊され、町は灰に埋まりました。熱線や爆風により、たくさんの人々が犠牲になりました。かろうじて生き残った人々の中にも、放射線などによる後遺症で、現在も苦しめられている方々がいらっしゃいます。

その悲惨な出来事から７８年経った今でも、戦争や殺人事件、育児放棄、いじめなど、心が痛むニュースを聞かない日はありません。世界も平和とは言えません。このような状況の中、今を生きる私たちは、これから世界を平和にするために、どのようなことができるのでしょうか。

西浦上中学校では、平和学習の一環として、被爆体験家族証言者の方から話を聞きました。証言者の方は「怖い」という感情を乗り越えて僕たちに被爆者の経験を話してくださいました。その姿勢を通して、被爆者の方々の高齢化が進み、戦争の体験を語ることができる方が少なくなる中、今後は私たちのように、実際に原爆を体験していない人が戦争の恐ろしさについて知り、平和について発信していくことはとても大切なことだと強く感じました。

また、私は、８月７日に長崎市役所で行われた、いわき市・長崎市生徒会リーダー交流会に参加しました。東日本大震災や、それによって発生した福島原発の事故、またその後の福島県の復興などの話をいわき市の中学生から聞きました。特に印象に残っているのが、 まだ彼らが２歳だった頃、震災の時住んでいた家が流されてしまったという話です。自分と同年代の人たちが、このような悲惨な経験をし、それを乗り越えて、自分たちの住む街のために、今、自分たちにできることを行動に移しているその姿に深く感銘を受けました。

このような学習を通して、今起きている様々な出来事から目をそらさず、実情を見つめ、被爆者の方々から学んだことをもとに、一人一人の考えを被爆地、長崎から発信していく必要があると実感しました。

私たちは、将来、二度と悲しいことが起こらないよう努力していきます。そのために、過去の歴史に学び、威嚇や暴力ではなく対話によって高め合える社会、お互いの違いを認め合い、尊重しあう民主的な社会を築くことを目指します。

私たちは、平和都市「長崎」の市民として、平和な未来を築くために、自らができることを考え、実践していくことを、ここに宣言します。

令和５年（２０２３年）１０月２８日
長崎市立西浦上中学校生徒一同

活動の様子

◆事前研修会（10 月 15 日(日)、19 日(木)、20 日(金)　北九州市平和のまちミュージアム）

◆出発　（10 月 27 日(金)　北九州市役所 南口玄関前）

◆城山小学校・嘉代子桜　（10 月 27 日(金)）

◆**長崎原爆資料館**　(10 月 27 日(金))

◆**被爆体験講話**　(10 月 27 日(金)　長崎原爆資料館会議室　講話者 三瀬 清一朗 氏)

◆夕食～ミーティング　(10 月 27 日(金)　ホテルコンチェルト長崎)

◆市民大行進、ボランティア活動　(10 月 28 日(土)　平和公園 ほか)

◆ピースボランティアとの交流　(10 月 28 日(土)　平和公園～ＡＮＡホテルクラウンプラザホテル長崎)

A班 報告書

出口菜名子、原田歩美、
寺﨑百音、宮田らな、高瀬颯太郎

今私たちが後世に伝えたいこと

北九州と長崎のつながり

みなさん、今から約75年以上前、
日本で戦争があったことを知っていますか？
1945年 8月6日 午前8時15分 広島県
1945年 8月9日 午前11時2分 長崎県
に原子爆弾が投下されました。

しかし

長崎に投下された原子爆弾は、
小倉に落とされる計画だったのです。

小倉が投下の第一目標だった理由

○兵器を作るための兵器工場などがあり、
重要な都市だったため。
○空襲の被害を受けていないところへ投下し、
原子爆弾が与える影響をみるため。

【クイズ】
8月9日、投下の第一目標であった小倉ではなく
長崎に原爆が投下されたのはなぜ？
①小倉に雨が降っていたから。
②小倉の町が煙に覆われていたから。
③B29(航空機)の燃料が足りなかったから。
④小倉の町が雲に覆われていたから。

答え ②

8月9日、原子爆弾をのせたB29(航空機)が、
小倉上空に達した時、その空は前日の八幡での空襲の
煙の影響により視界がよくありませんでした。
そのため、アメリカ軍は小倉への投下をあきらめ、
第二の目標であった長崎に向かいました。
このことから、
北九州と長崎には強いつながりがあるのです。

活動報告

2023.10.27~28

爆心地から西方500mの
場所に位置する城山小学校・
嘉代子桜を見学。
鉄筋コンクリートに
埋め込まれた木材までもが
炭化している様子から
原爆の悲惨さが伺えます。

長崎原爆資料館を見学。
悲惨な形に変化したものや、
当時の様子が窺えるような写真
が数多く展示されています。
それらを目にするだけでも当時
の辛さが伝わってきました。
見学後は被爆者の方のお話を
聞きました。(次ページ参照)

平和公園から爆心地公園まで、
戦争の悲惨さを忘れず、平和な
未来を築くために行われる市民
大行進。青少年ピースボランテ
ィアの方と一緒にバルーン配
布、片付け等のボランティアを
行いました。一斉にバルーンが
飛んでいく姿は圧巻です。

青少年ピースボランティアの
方々と一緒に「平和が続くため
に何をすべきか」について話し
合いました。それぞれが平和に
関して様々な思いを持ってお
り、積極的に話し合うことがで
きました。

被爆者の方のお話と私たちの思い

プロフィール

三瀬誠一郎（みせ　せいいちろう）さん
現在88歳。
小学校5年生（10歳）の時に爆心地から3.6Kmの屋内で家族8名被爆しましたが、全員無事でした。

被爆当時の気持ち

小学生にして、明日がくるか、いつまで戦争がつづくのかなどを考えていました。三瀬さんは日本が負けてうれしかったと言っていました。戦争や空襲の恐怖に怯えずに、勉強したり遊んだりすることができるようになったからです。

三瀬さんの願い

現在、SNSでのやり取りが多くなっていますが、面と向かって直接コミュニケーションを取ることで、いつか交わって円満になっていくと思います。過去の出来事を思い出しながら、未来をみつめ、自分にできることを考えて行動することが平和への第一歩です。

私たちの思い

今、私たちが過ごしている日常は、当たり前のものではなく、その過去には想像もできないほど悲惨な出来事がありました。しかし、その過去を実際に経験した人はどんどん少なくなっており、私たちが生の声を聞くことができる最後の世代と言われています。"平和な世界"は一人でつくりあげることはできません。だからこそ、世界中の人々が手を取り合って、平和な未来を『みんな』でつくりあげていきましょう！

A班：出口菜名子　原田歩美　宮田らな　寺﨑百音　高瀬颯太郎

B班　報告書

森なるな、小路麻央、菱井丈琉
奥浜日向子、藤村日和子

過去

１９４５年 ８月９日　長崎に原爆投下

○何で長崎に原爆が落とされた？

第一原爆投下目標地の小倉は視界が視界が悪かったため、原子爆弾を積んだB29は第二原爆投下目標地であった長崎に向かった。当時、長崎は造船所や製鋼所などがある軍事拠点だった。アメリカは長崎を攻撃し軍事の施設を破壊することで、日本に早く降伏させようとした。

○どのような被害がでた？

約7万4000人が亡くなり、約7万5000人が負傷。原爆の熱戦・爆風・放射線による病気が人々を苦しめ、生き残った人の中にも長い間苦しんでいる人がいる。また、長崎市内の約1万8500戸（36%）が被害を受けた。

三瀬清一郎さんの体験

- 爆心地から3.6km離れた自宅で被爆
- 奇跡的に家族八人助かった
- 大けがをした人たちが小学校に運ばれて運ばれていくのを見た
- 学校が再開した時、友達が原爆でなくなったこと亡くなったことを知った。
- 戦後は食べるものがなかったので、木の実やハチの巣、魚などを自分で取って食べていた。

原爆の威力 | 原爆の惨状 | 長崎の原爆 | 調べる | ながさきの平和【公式】（nagasakipeace.jp）

核とは？

その中でも、核分裂の連鎖反応によって膨大なエネルギーが発生するのを利用した兵器が**原子爆弾**と呼ばれる。
他にも水素爆弾や核ミサイルなどがある。

広島に落とされた原爆

→「リトルボーイ」

ウラン235を臨界量より少ない２つのかたまりに分けて爆弾に入れておき、爆薬を使ってかたまりを一つに合体させ、一瞬で臨界量以上になるように作られました。ウラン235が臨界量以上になると、100万分の1秒というごく短い間に核分裂連鎖反応が起こり、膨大なエネルギーが一度に放出されました。

長崎に落とされた原爆

→「ファットマン」

プルトニウムを取り囲むように爆薬が配置され、これを爆発させることで、プルトニウムを内側に圧縮して核分裂を引き起こす「インプロージョン方式」と呼ばれるものです。
　原爆のエネルギーのうち、約５０パーセントが爆風、約３５パーセントが熱線、約１５パーセントが放射線といわれています。

核が人体に及ぼす影響

　爆風、熱波、放射線、放射性降下物が無数の人々の命を奪い、人体に短期的・長期的に計り知れない影響を及ぼします。
（核兵器禁止条約はなぜ重要なの？ - 赤十字国際委員会 赤十字国際委員会 (icrc.org)）

現在

原爆の恐ろしさが世界に知れ渡っている現在も、核兵器の数が0になったわけではありません。

長崎に投下された
ファットマン

今、核兵器が投下されると・・・

80年前、長崎・広島に投下された原爆の

3000倍

現在の核兵器の数

12,520

保有国内訳

核兵器禁止平和条約

核兵器禁止平和条約とは？

人類滅亡さえもいたしかねない「非人道兵器」である核**兵器の全廃**をめざして、核兵器を**作ること**も、**持つこと**も、**使うこと**も、すべて**禁止**した条約。

なぜこの条約が作られたの？

現在も世界には多くの核兵器が存在する。
現状に強い危機感を抱いた核兵器を持たない国々が「**核のない世界**」に向けた新しい流れを生み出そうと作られた。

条約発効により何が変わったの？

条約の発効は、核兵器の保有も使用も禁止であるという国際世論の強化に繋がる。もちろん発行したからといって、核兵器がすぐになくなるわけではない。この条約があることで核兵器に「**絶対悪**」のイメージが与えられ、核兵器に対する意識が変わり、**廃絶に向けた動きの促進**につながると考えられている。

ロシアのウクライナ侵攻もあるけど…

2022年２月に始まったロシアのウクライナ軍事侵攻により、核兵器が実際に使用されるのでは、との危機感が高まった。条約の支持国は、こうした状況下だからこそ、「**核抑止では安全は守れない**」という条約の訴えがますます重要であり、**世界は核兵器廃絶に向けて動くべきだ**、と主張している。

条約に反対する国は何と言っているの？

9つの核保有国と、その核兵器に依存している約３０か国の「核の傘」の下の国々は、条約に署名・批准していない。核兵器があるから自分の国や仲間の国の安全が守られている、と考えられているからである。これらの国々は、条約があっても核兵器は一発もなくならない。世界の国々が、条約に反対する国と賛成する国に分断されることで、むしろ「**核のない世界」は遠ざかる**、と主張している。

未来

長崎研修で行った「平和記念像」

？ この世界から核を完全になくすことはできるのかな

自分の国を守るために、多くの国が核爆弾を持っているからなくすのはむずかしいかな…
全ての国の意見がそろって、いっせいになくさないとこの状態はつづきそう

◉核をなくすためにしている会議では、"核爆弾が使われる可能性はまだまだある"と言われている

核の開発をしている北朝鮮が使うかも…

中国が戦争して使うかも…

アメリカが戦争で使うかも…

核を完全になくすのはむずかしい。じゃあどうすれば平和になるのだろう

”核をなくす”ことを目指すのではなくて、”核と共存した”上で平和を目指す！

＊いきなり核爆弾をなくすのは無理だから、「核爆弾が存在する前提」の中で平和になるように考える

たとえば…

爆弾を日常生活で使う

エネルギーに変えてみる！

爆弾のエネルギー　　電気に！

戦争を経験した人の話を聞く機会をもっと作る

「平和は人類共通の世界遺産」
（長崎でお話してくださった三瀬さんの言葉）

＜未来に向けて＞
だれもが、人を傷つけると心が痛むと思います
みんながその痛みを大事にして、「人を傷つけるのをやめよう」っていう考え方が、どんどん大きくなっていったら、いつか核兵器を持たなくて良くなる日も来ると思います

（スライド候補２）

未来

「平和は人類共通の世界遺産」
（長崎でお話してくださった三瀬さんの言葉）

これから
・追い込まれた北朝鮮が先制使用する
・台湾をめぐり　中国とアメリカが対立して使用する

核兵器を保有している国がある以上、どこかの国が核兵器を使う可能性は大いにある

[核兵器をなくす]

目指すのは核兵器に頼らなくても全ての国に安全が確保される世界

↓ シフトチェンジ

[核兵器と共存する]

核兵器を完全になくすのは難しい

※ 核戦争シュミレーション…世界各国の専門家が集まり、核兵器が使われたらどうなるかを想定したもの

C班 報告書

政岡由璃那、道城有紗、
茂木士憧、吉牟田楓乃音

～長崎にしかない戦争資料～

「ファットマン」
実際に長崎へ
落とされた
原子爆弾

「旧浦上天主堂」
実際に長崎へ被爆した旧浦上天主堂の遺構。東洋一の壮大さを誇る浦上天主堂だったが、原子**爆弾の炸裂**によって**破壊**され、**壁の一部**が僅かに残るのみとなった。

「被爆時計」
原爆が投下された時刻、**11時2分**で時間が止まっている

被爆者　三瀬清一郎さんの想い

～原爆直後の状況～

・10歳で「明日**命あるかな**」
・学校で出欠を取っていたら
「●●君は原爆で**死**にました」
・日本の**敗戦**を知り、もう終わると**“安心”**

↓

～三瀬さんが伝えたいこと～

平和は人類共通の世界遺産！！コミュニケーションを大切にすることが平和への第一歩！三瀬さんたちが味わったことを、私たちの世代が知る必要がある。

長崎県がやっていること

①青少年ピースボランティア
→学習会を通して被爆の実相を学び、
未来へ伝える。ピースフォーラムの運営。

②国際青年平和交流事業
→平和に関して**自由な企画**を行う。

③家族・交流証言講話
→被爆者の証言を、若い世代が後世へ語り継いでいく

『継承』について

戦後77年が経過。
語り手が不足していく中でどのようにして
『継承』していくのか。私たちは考えていくべきです。

長崎平和大行進に参加し、若者の参加率の高さに
驚きました。語り手不足の問題を抱える今、
若者世代が先頭に立って、
戦争の辛さ・平和の尊さを知り、積極的に広めていきたい
と強く思いました。

長崎市民インタビュー

～ピースボランティア活動を通して
お聞きしたことをまとめました～

・自分の言葉で伝えたいことが**しっかりと伝わった**時の達成感

・子供たち、同じ世代の方々が**真剣に平和について聞いてくれる、考えてくれる**時の喜び

・コミュニケーションを通して、自分自身も**新たな発見があり学びになる**

・平和に関する想いや話をもっと聞きたいなど、**興味を持ってくれた**ときが嬉しい。

小倉-長崎間でできること

①まずは**小倉・長崎の歴史、縁を知る。**

→第一投下目標地であった歴史の中でお互いの都市について知り、交流きっかけを持つ。

②二都市間の**若者世代の意見交換の場、学び会**を実施する。

→お互いの「平和への想い」に触れる機会を作る

③**ボランティアや平和イベントへの積極的な参加**

→情報を共有し共に参加し次世代へと繋げていく

世界の現状

ハマスvsイスラエル

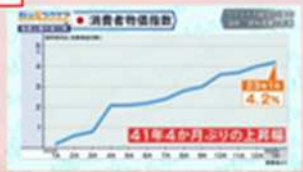
パレスチナ暫定自治区のガザ地区を実効支配するイスラム組織「ハマス」が、2023年10月7日、イスラエルに対し、極めて大規模なロケット弾による攻撃と、地上からの越境攻撃を行いました。**900人以上が犠牲**になり、100人以上がガザ地区に拉致され人質になっています。イスラエルのネタニヤフ政権は、ハマスに対する**「戦争」を宣言**して報復攻撃を行い、パレスチナ人**700人以上が犠牲**になりました。暴力の応酬が拡大し、沈静化の糸口はまったく見えません。

ウクライナvsロシア

- ウクライナ軍の大規模な反転攻勢の開始
- アメリカなどの国から武器の供与を受けている。
- ロシア軍は新たな部隊を派遣し、東部ドネツク州で大規模な作戦を展開。
- 激しい攻防が続いる。
- **市民の死者 少なくとも9701人**（国連・9月24日時点）
- **世界各地に滞在しているウクライナ難民628万7500人**（UNHCR・11月14日現在）

戦争の影響

- **エネルギー**や**小麦**の**高騰**などを受け、日本の消費者物価指数はコロナ禍も相まって歴史的な**上昇**を続けている。
- **消費者物価**はこの1年で**アメリカ**も**ヨーロッパ**も**日本**も大変な**上昇**をしている。
- 戦争により**自由貿易体制**が崩れて、食料で言えば、**26か国が輸出規制**を行い、自国の食料を第一に確保という**自国優先**の考えになっている。



私たちの行動

私たちにできることはあるの？

★ステップ1 「現状を把握しよう」

・世界の情勢、日本の情勢について知っていこう！
1日5分でもニュースを見る時間やスマホ等で記事や動画を見る時間を作ろう！

★ステップ2「共有しよう」

・家族や友人と今日見たニュースの話や記事、動画の話を少しでもいいから共有しよう！
例）「今日やばいニュースがあってさ～、〇〇が凄かったんよ！」等

★ステップ3「1歩を踏み出そう」

・1歩の踏み出し方は人それぞれ、何か1歩でも1日平和なことをしたなという日を作っていこう！
例）人と喧嘩しない、思いやりの心、平和について語り合う、ボランティアに参加、原爆資料館に行った等

北九州市

平和のまちミュージアム

Kitakyushu City Museum of Peace

公式 X はこちらから！

公式 LINE はこちらから！

令和６年 ２月　発行

■編集・発行　北九州市総務局 平和のまちミュージアム事務局

〒803-0813　北九州市小倉北区城内４番１０号

■電　　話　０９３－５９２－９３００

■ホームページ　http://www.kitakyushu-peacemuseum.jp